

第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案 単元名「発見!浄法寺の宝物」～すもうのまち 浄法寺～

日時 平成29年9月29日(金)
場所 二戸市立浄法寺小学校 3年教室
児童 3学年(男子10名・女子14名)
指導者 小森 智宏・工藤 真記子

1 児童と単元について

(1) 児童について

子どもたちは、1学期の「発見!浄法寺の宝物」の学習において、昔の小学校跡地を実際に回って、地域の方にお話を聞いたり、学校の周りの様子などを見たりして、昔の学校はどんな様子だったのか、それぞれの学校や地域で特色のある取り組みや地域の人たちが大切にしてきたことなどを知り、今まで知らなかった浄法寺のすばらしさに気付くことができた。また、自分たちが気付いた地域のすばらしさを「浄法寺の宝物」としてまとめる活動を行い、自分たちが考える「浄法寺の宝物」を1,2年生に発表する活動を通して、1,2年生に分かりやすく発表するためには、どのような方法を用いればよいかを考え、調べたことを新聞、劇、紙芝居などにまとめることができた。

この浄法寺の宝物を見つける活動の中で、子どもたちは旧浄法寺町の小学校すべての学校に土俵があることを知り、相撲が盛んに行われてきたことを知った。また、浄法寺小学校の相撲の歴史を保護者に聞いて発表したグループもあり、浄法寺町が相撲に力を入れて取り組んでいた町であることに気付くことができた。また、校内相撲大会への参加や、特設相撲クラブの活動に参加している児童もおり、児童にとって相撲は身近なものであり、関心も高い。しかし、地域の中で相撲が大切にされてきたことや、多くの人が相撲と関わってきていることに対する意識は高くない。また自分の考えをもち、それを解決するために調べること、調査や体験を通し新たな関心や疑問をもつこと、調べたことをまとめることなどについては、まだまだ力が不十分である。

(2) 題材について

二戸市浄法寺町は、古くから相撲が盛んに行われ親しまれ続けてきた。浄法寺中学校や浄法寺高校は、県や全国でも素晴らしい成績を収め続けており、元大相撲力士柘の花開もここから排出されたことでも知られている。また、浄法寺祭の奉納相撲は、五穀豊穡、家内安全、地域の融和親睦を目的に現在も伝承されている祭事である。

また、本校で6月に行われる「校内相撲大会」は、全校児童が参加し、個人予選から決勝、団体戦まで一日がかりの大きな行事である。地域の関心も高く、児童の家庭はもちろん、卒業生、地域のお年寄りの団体、見に来られない方のために撮影をする施設の方など一堂に会し、盛大に行われる。特設相撲クラブもあり、地区、県、東北の数々の大会で優秀な成績を収めている。

このように子どもたちにとって相撲は身近であり、相撲に取り組んだ体験をもとに学習を進めることができる。家庭や地域の方とも相撲を取ったり話題にしたりして関心を高めることもできる。浄法寺の相撲は守り続けたい「宝」であり、引き継いでいきたいという思いをもって活動を進めていくことのできる題材であると考えられる。

2 指導にあたって

(1) 単元構想について

「つかむ」段階では、6月の校内相撲大会について振り返り、本校の相撲大会が、1日がかりで行われる大きな行事であること、本まわしを締めて取り組みを行うこと、本校独自の相撲甚句があること、保護者の方がちゃんこを作ってくれることなど、他の学校と比べても、大々的に行われていることを確認し、あらためて浄法寺の宝「相撲」を感じさせたい。また、地域と相撲の関わりについて知る活動も行い、なぜそんなに相撲が親しまれ続けてきたかを考えさせたい。これらの活動を元に、もっと詳しく調べたいという意欲をもたせ、一人一人に課題をもたせたい。

「みとおす」「やってみる」段階では、自分が調べたい課題を解決するためにはどのような方法があるかを考える。その後、グループ毎に、相撲全般や浄法寺の相撲に詳しい方を招き質問したり、地域の方に質問したり、実際に体験したり、インターネットなどで調べたりする。地域の人々が大切にしてきた相撲を自分たちで調べることで、さらに大切にしていこうという気持ちを育てたい。

「まとめる・ひろげる」「ふりかえる」段階では、調べてきたことを伝える活動を行う。その際には、誰に対して伝えるのか、どのような方法で伝えるのかを考えさせ、リーフレット、新聞、ポスター、紙芝居、劇などでまとめて伝え、学習したことを確かなものにする。そして、この学習を通して、伝える相手や伝え方を考え、伝える活動を通して、課題解決をする方法に気付くことができるようにするとともに、地域の相撲を大切に、関わっていこうとする気持ちをもつことができるようにする。

(2) 表現活動について

「やってみる」段階では、自分が調べたいことについて、地域の方に質問して、聞き取ったことを要点をとらえてメモする活動を行う。「まとめる・ひろげる」段階では自分たちが調べたことを誰に伝えたいのかを考え、その相手に分かりやすく伝えるためには、どのような方法がよいのかをグループで考えさせたい。そして伝えるためにはどうしたらよいかを話し合わせ、新聞、リーフレット、紙芝居、劇などの表現方法を工夫させる。

3 単元の指導計画

(1) 単元の目標

◎地域と相撲の関わりを学んだり、相撲に関することを学んだり体験したりする活動を通して、さらに詳しく調べたいことや新たな疑問を見つけ解決し、自分たちの地域に親しまれている相撲に対する理解を深めるとともに、それに携わる方々の思いを知り、地域の相撲を大切に、関わっていこうとする思いをもつことができる。

○育てようとする資質・能力

<課題設定能力>

- ・浄法寺と相撲の関わりや、相撲の体験などを通して感じたことや気付いたことをもとに課題を設定することができる。

<課題追究能力>

- ・自分が調べたいことについて体験やインタビューをしたり、資料を活用したりして調べ、課題を解決することができる。

<コミュニケーション能力>

- ・インタビューをして、地域の人と関わりをもつことができる。
- ・調べたことを分かりやすく伝えるためには、誰にどのような伝え方をすればよいかを、グループでの話し合いを通して考えることができる。

<表現・発信の能力>

- ・調べたことを効果的に伝えるために、誰に、どのような伝え方をすればよいかを考えることができる。
- ・言葉を工夫したり、実物を見せたりして、調べてわかったことや考えたことを、相手に分かりやすく伝えることができる。

<自己評価能力>

- ・調べたことを効果的に伝えるために、誰に、どのような伝え方をすればよいかを考え、伝える活動を通して、課題解決の方法に気付くことができるとともに、地域の相撲を大切に、関わっていこうとする思いをもつことができる。

(2) 単元の指導計画 (30時間)

過程	主たる活動<評価規準>	支援
つかむ (4)	<p>○校内相撲大会について振り返り、感じたこと、気付いたことを話し合う。(2)</p> <p>○浄法寺と相撲の関わりについて知る。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種相撲大会での浄法寺の活躍 ・お祭りでの奉納相撲 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>浄法寺ですもうがさかんなのはなぜか、そのひみつをさぐろう！</p> </div> <p>○自分をもっと深く調べてみたいことについて考え、課題を設定する。(1)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>浄法寺と相撲の関わりや、相撲に関する体験などを通して感じたことや気付いたことをもとに課題を設定している。 <課題設定能力></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の相撲大会が、他の学校と比べても、大々的に行われていることを確認し、相撲が盛んであることを再認識できるようにする。 ・地域と相撲の関わりについて知り、あらためて浄法寺の宝「相撲」を感じさせ、なぜ、浄法寺で相撲が親しまれ続けてきたのか、ということを考えるようにする。
みとおす (1)	<p>○自分が調べたい課題について、どんな方法で追究していくか計画を立てる。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に体験する。 ・家族や地域の人にインタビューをする。 ・インターネットで調べる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>どんな方法で課題を解決していくかを考えている。 <課題追究能力></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューや体験活動、インターネットや資料などで調べる、など様々な方法があることを確認し、グループ内で、どのような方法で課題を解決していくのかを考えることができるようにする。
やってみる (10)	<p>○課題を解決するために調査を行う。(10)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄法寺と相撲の関わりについて、詳しい人にインタビューをする。 ・相撲の指導者に決まり手を指導してもらう。 ・ちゃんこの作り方を教えてもらう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>インタビューや体験などでの地域の人と関わりを通して、場に合った方法で、適切なコミュニケーションを図っている。 <コミュニケーション能力></p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分が調べたいことについて、インタビューや体験などを通して調べ、課題を解決しようとしている。 <課題追究能力></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・調査の際には、地域の方と関わりをもちながら、聞いたり、体験したりする活動が行えるように、事前に相撲の指導者や協会の関係者、相撲の知識が深い方など課題解決に適した方に連絡を取り、課題の解決が図れるようにする。

<p>まとめる・ひろげる (14) 本時 17 / 30</p>	<p>○調べて分かったことを，グループで，誰にどのように伝えたいかを話し合う。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで何を伝えるのかを決定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○グループで誰に，どのような方法で伝えるのか話し合いを行う。 (本時 2/2)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>調べたことを分かりやすく伝えるためには，どのような伝え方をすればよいかを，グループでの話し合いを通して考えることができる。<コミュニケーション能力></p> </div> <p>○資料をつくる。(8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞にまとめる。 ・リーフレットにまとめる。 ・紙芝居にまとめる。 ・劇にする。 <p>○グループごとに資料を見合う。(1)</p> <p>○資料を完成させる。(2)</p> <p>○伝えたい相手に向けて，調べたことを伝える。(1)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>言葉を工夫したり，実物を見せたりして，調べてわかったことや考えたことを，相手に分かりやすく伝えることができる。 <表現・発信の能力></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが調べてきたことを，誰に伝えたいのかをはっきりさせ，その後，対象に調べたことを分かりやすく伝えるためにはどんな方法と内容がよいか考えることができるようにする。 ・調べたことを実際にやってみる，新聞にまとめて発表する，リーフレットを作り読んでもらうなど様々な方法があることを確認する。必ずしも，発表にこだわる必要はない。 ・伝えたい相手を考え，相手に伝わるようにわかりやすい伝え方を意識できるように，参考となる資料などを用意する。 ・お互いの資料を見合ったり，意見交換を行ったりする時間を保障し，よりよい資料が完成するようにする。
<p>ふりかえる (1)</p>	<p>○活動を振り返り，学習への取り組みや学んだことについて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>伝える相手や伝え方を考え，伝える活動を通して，課題解決をする方法に気付くことができるとともに，地域の相撲を大切に，関わっていこうとする思いをもつことができる。 <自己評価能力></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝える相手や伝え方を考え，伝える活動について振り返ることで，課題解決をするための方法に気付くことができるようにするとともに，この学習を通して，浄法寺の地域の人たちが相撲を大切に思う気持ちを知り，地域の相撲に関わっていこうとする気持ちをもてるようにする。

4 本時の指導 (17/30時)

(1) 目標

- ・調べて分かったことや感じたことを，誰に伝えるのか，効果的に伝えるためにはどのような方法が良いかを話し合いを通して考えることができる。

(2) 本時の展開

過程	学習内容と活動	教師の支援
<p>導入 (3分)</p>	<p>1 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>調べたことを，誰にどのように伝えるのかを考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが調べてきたことを，誰にどのように伝えたいのかを意識できるようにする。

<p>展開 (35分)</p>	<p>2 調べたことを誰にどのように伝えるのかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちが調べてきたことを誰に伝えたいのかをグループごとに話し合い決定する。 <ul style="list-style-type: none"> 地域の人 おうちの人 低学年など 調べて分かったことを分かりやすく伝えるには、どの方法がいいか考える。 <ul style="list-style-type: none"> リーフレット 新聞 劇 紙芝居など 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが伝えたい内容を、誰に伝えたいのかグループで話し合わせ、対象を決定できるようにする。 伝える相手を意識させて、自分たちのグループではどの方法で伝えるのかを話し合い、方法が決定できるようにする。 話し合いの際には、出てきた意見を否定するのではなく、たくさんの意見を出し合い、その上で、自分たちのグループに合う対象と方法を決めるよう助言する。 話し合いの際には、発表ボードを用い、意見が可視化できるようにする。 話し合いの中で、伝える相手と方法がまとまらない場合、グループ内で別れて資料作りを行うことも認めていく。 話し合いの中で、広めていきたい考え等あれば適宜紹介していく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◎調べたことを分かりやすく伝えるためには、誰にどのような伝え方をすればよいかを、グループでの話し合いを通して考えることができる</p> <p style="text-align: center;">＜コミュニケーション能力＞</p> </div>
<p>終末 (7分)</p>	<p>3 本時の振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 誰に伝えたいのか、どのような伝え方をすればよいのかを、話し合いを通して考えることができたかどうか振り返るようにする。

(3) 評価規準

	ねらいを達成している児童	努力を要する児童への支援	評価方法
<p>コミュニケーション能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことを、誰にどのように伝えればよいか、効果的に伝えるために、どのような伝え方をすればよいかを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> どのような伝え方をすれば、相手に伝わりやすいかを具体的に資料を見せて考えるよう助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察 ワークシートへの記述

